

計画的に行っており、現在

約4千食備蓄しており、今

年度の新規購入分と合わせ、

年度末には約7千食を確保

する予定であるが、アレル

ギー対応食については約4

千食のうち6%程度にとど

まっているので、今後その

割合を高めたい。

**議員** 大震災を通じて、赤

ちゃんの対応、ミルクアレ

ルギーの対応の計画が重要

視されていると聞く。本市

はどうか。

**危機管理部長**

現在契約中の業者の取扱いの中には幼

児用の食品もあり、購入割

合を増やす等して対応して

いきたい。



## 企業誘致について

**議員** 今年度の企業誘致に

市長 今年度6月に商工会議所会頭と共同で県営笠岡港、港町地区で工業用地の分譲条件の見直し、地盤改

果についてたずねる。

**市長** 今年度における企業誘致の照会は、11月末現在

で5件あり、県営工業用地

に関する照会は3件、民有

地の照会は2件だった。こ

のうち、本市への進出が実

現しているのは、民有地に

対する会社の1件である。

## 東川二郎議員

### 企業誘致について

**議員** 今、本市が抱える重要な問題は人口減少と財政難である。毎年500人規模で減っていく人口、そして最悪の状態を脱出したとはいえ、厳しい財政状況は続くものと考えられる。

これらを解決するには企業誘致しかないと考えるが、本市の企業誘致の推進に対する活動内容についてたずねる。

良費用等の補助制度及び分

譲単価の見直しを県に対し

て要望した。そして10月16

日に東京で開催された岡山

企業立地セミナーに職員2

名が参加し、県の職員とともに笠岡港工業用地のPRを行った。

そして12月3日に笠岡市

産業振興ビジョンの答申を

頂いたが、その答申を最大限尊重しながら、本市として

の産業振興ビジョンを策

定し、平成26年度より企業

誘致の推進に対する具体的な施策を計画的、年次的に

実施していくと考えて

いる。

**議員** 市長自らが出向き、

営業していく。企業誘致が

成功するためにはそうした

トップセールスが大事では

ないかと考えるが、どうか。

**市長** 様々な方からご助言

を頂く中で、それを突破口としてのトップセールスに

はどんどん進んで足を運び

たいと考えている。

## メガソーラーパネルの設置について

**議員** 十一番町雨水調整池

でフロート式の発電施設を

設置する企業の募集を公募

により進めていると聞いた

が、公募の状況をたずねる。

**政策部長** 公募の開始後、

数社から問い合わせがあつたが、最終的な応募は1社のみだった。その後、太陽

光発電所設置者公募要項に基づいて、審査員による書類審査及びヒアリングを行

った結果、公募基準に満たず、内定に至らなかつたと

いう状況である。

議員 市長自らが出来た結果、公募基準に満たず、内定に至らなかつたと

いう状況である。

**市長** ①現在情報収集に努めており、整備計画等についても検討中である。  
②水道料金の健全化についてたずねる。

## 田口忠義議員

**市長** ①現在情報収集に努めており、整備計画等についても検討中である。

②資産管理の洗い出し作業終了後、来年度中にその結果に基づいた水道施設の更

新計画を立て、次期水道ビ

ジョンに反映させていく予

定であり、その中で検討し



十番町雨水調整池

**議員** 設置業者を選定する際の基準をたずねる。

**政策部長** 設置業者の経営の安定性、事業計画の適切性、地域貢献策、施工及び資材調達に対する地元への波及効果や環境配慮、住民への配慮といった項目で総合的に評価することにしている。

## 市民病院について